

## 会 議 録

会議の名称	豊中市上下水道事業運営審議会		
開催日時	令和7年（2025年）1月24日（金）午後3時00分～午後5時00分		
開催場所	上下水道局 4階会議室	公開の可否	㊦・不可・一部不可
事務局	上下水道局 経営部 経営企画課	傍聴者数	0人
公開しなかった理由			
出席者	委員	浦上委員、清水委員、和田委員、大路委員、竹之内委員、平尾委員	
	事務局	吉田上下水道事業管理者、河本経営部長、細川技術部長 木下経営部次長兼経営企画課長 松井お客さまセンター長兼給排水サービス課長、 森山技術部次長兼水道建設課長、中島技術部次長兼下水道管理課長 大橋猪名川流域下水道事務所長兼維持課長 長尾総務課長、蓮池窓口課長、宇都宮総務課長補佐 富永経営企画課長補佐、山口経営計画係長、小谷、黒木	
	その他		
議題	【案件】 「第2次とよなか水未来構想」に基づく取り組みについて		
審議等の概要 (主な発言要旨)	別紙のとおり		

令和 6 年度 豊中市上下水道事業運営審議会  
第 2 回会議 議事要旨

- 開会
  - 管理者挨拶
  - 資料確認
  - 成立要件の確認
- 
- 案件 1. 「第 2 次とよなか水未来構想」に基づく取り組みについて

事務局

「1-1 料金・使用料の改定経過について」(資料 1~2 及び参考 1~2 にて説明)

会長

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご意見ご質問があればお願いいたします。  
どなたからでも構いませんのでよろしくお願いします。

委員

まず 1 点は賃金の上昇、民間事業者では 5%から 7%上昇というのが当たり前になって参りました。物価の上昇、金利の上昇により、企業債の返済計画も大きく変わってくるのではないかと考えています。

返済計画については社会情勢にあわせた見直しを図らなければ、再び料金使用料改定の話になるのではないかと考えており、絶えず情報収集が必要ではないかと思えます。

上下水道局は様々な努力をされて 20 年間値上げをせずに頑張ってきたと思いますが、令和 6 年 3 月議会で改定案が否決されたのは、そのことが裏目に出てしまったのではないかと感じています。

もう一点が能登半島地震において、上下水道施設を復旧させるために現金がどれぐらい必要であったかについて、調べられた方がいいのではないかと考えています。

南海トラフ巨大地震は 30 年内発生確率が 70%~80%と言われていています。また大阪には上町断層があり、30 年内発生確率が 7%~8%と言われてっていますが、大きな被害を受けるといのは間違いのないと思います。復旧に現金がいくら必要なのか、水道は 20 億円、下水道は 40 億円で足りるのかどうかについて、検証を進めておくべきではないかと考えています。この 2 点が今後の大きな課題と考えております。

事務局

今後も人口減少、それと工事費用の増加等により引き続き、厳しい経営状況を見込んでお

り、物価の上昇等の状況を常に把握し、毎年経営シミュレーションに適切に反映していくことを考えております。

また料金使用料は3年から5年での定期的な見直しの検討を行っていくこととしておりますので、社会情勢を注視しつつ、慎重に議論を行っていきたいと考えています。

もう一点の地震後の復旧に必要な現金についてですが、現在経営目標指標に設定している水道事業で20億円、下水道事業で40億円は、東日本大震災や熊本地震の復旧に要した期間を基に設定を行っております。

設定金額の内訳を細かく申し上げますと、工事費用である建設投資、企業債償還の半期分、人件費等を考慮し、最低限確保しておくべき金額として設定しているものです。

ただ先ほど意見を頂きましたように、人件費の上昇等により、費用は年々増加傾向となっている状況にありますので、現金預金残高の考え方についても社会情勢を注視しながら、3年から5年周期での定期的な見直しの検討を行っていきたいと考えています。

#### 委員

資料2の財政計画では、水道事業と下水道事業が別々に記載されています。水道事業が厚生労働省から国土交通省に移管されたことで水道事業会計と下水道事業会計も一本化されるのでしょうか。その辺の仕組みについて、教えていただけますでしょうか。

#### 事務局

水道事業と下水道事業はそれぞれ別々の法律で規定されておりますので、国土交通省が上下水道を一元管理することになったことで水道事業会計と下水道事業会計が一本化されるわけではありません。

#### 委員

他の委員からありましたように、財務体質の強化、財務戦略の練り直しがキーワードと思い、意見をしようと思ってきておりましたので、先ほどの事務局の説明にもあったように、3年から5年周期で定期的な見直しをご検討いただければと思います。

#### 委員

施設のハード面から2点とサービス面から1点について、資料2の実行計画の中からご質問させていただきます。

まず、ハード面の1点目は13ページの自己取水量の確保についてですが、近年変動が激しいと感じます。評価等のところでは、令和5年度は目標を下回った理由として、設備の更新工事について記載されていますが、それ以外の年度も減少傾向であります。取水量は今後、一定レベル保てるのかどうか気になるところです。

もう1点は15ページの老朽化した水道管路の更新と、18ページの老朽化した下水道管

路の改築更新についてです。水道管と下水道管の改築更新に関しては、技術的な部分で様々な違いがあると思いますが、まず老朽化した水道管路の更新については、計画より実績が大体5%プラスと非常に順調で、前倒しで達成される形で推移しています。一方で老朽化した下水道管路の改築更新については、対照的で計画と実績に乖離がある様に見受けられます。

また、工事を行う事業者の選定方法が複雑になってきており、加えて特殊な工事が伴ってくると事業者が限定され、契約金額が高止まりしてしまう等の懸念があるため、今後一定の実績を保てるのかどうかを質問でございます。

もう1つは、サービス面で39ページの広報・広聴・啓発活動の推進についてです。お客さま満足度は9割ぐらいまで上がっています。このアンケート手法はいわゆる紙ベースなのか、Web等を併用してアンケートをしているのでしょうか。Web等のQRコードを活用すると若い世代からも、意見が貰えると思いますので、アンケートの手法をどのようになさっているのかについての質問です。

## 事務局

13ページの自己水取水量の確保について説明させていただきます。令和3年度は、柴原浄水場から配水している配水本管が閉塞したため、敷設替えの工事を実施する間は取水を停止していたことにより、大幅に減少したものです。令和4年度は、濁水による取水制限が原因です。令和5年度は、ご指摘の通り、受変電設備の更新工事を行った関係で、2か月間取水を停止している時期があったことや取水制限の影響により目標を下回ったものです。

今年度についても、取水制限により、目標を達成することが難しい状況です。

続いて、15ページの老朽化した水道管路の更新についてです。豊中市では、老朽管の更新に合わせて、耐震管を敷設し、耐震性の向上を図っており、年間8,500m更新することを管路の整備方針としております。豊中市の水道管の総延長は約816kmであるため、年間約1%の更新を行えば、目標数値を達成することができると考えています。

続いて18ページの老朽化した下水道管路の改築更新についてです。令和5年度の実績が計画より下回っているということですが、下水道の場合は、ストックマネジメント計画を策定いたしまして、それを国へ提出し、それに基づいて、国から交付事業として補助金の交付を受け、執行しているという状況でございます。令和5年度は、国庫補助金が満額交付されなかったため、事業の大半が財源を国庫補助金に頼っていることもあり、実績が伸びなかったものでございます。補正予算等で、国へ補助の増額を要望しているところです。

39ページの広報・広聴・啓発活動の推進についてです。調査の手法については、無作為に市民の方を対象に、3,000人を抽出し、紙ベースのものを郵送させていただいて、アンケート用紙を返送若しくは、QRコードから電子申込みシステムで回答をしていただく形で行っています。令和4年度は約4割程度の回答がありました。

来年度がCS調査を行う年度となっておりますので、現在準備を進めているところでございます。

#### 委員

ハード面の質問について、いずれも根拠があるということで非常によくわかりました。

アンケート調査について、来年度も実施されるということなので、紙ベースと QR コードの活用を併用し、たくさんの方に回答いただける工夫を引き続き、検討いただければと思います。

#### 委員

今後経営シミュレーションの見直し等を行っていく際には、柴原浄水場や庄内処理場等の施設の存廃についての議論が出てくるのかについてお聞かせください。

#### 事務局

ご指摘のあった施設は、老朽化しているので、施設の存廃について議論を行っていく必要があると考えています。現時点では具体的に方向性は決まっていますが、令和 10 年度以降の計画を策定する際には、施設の存廃についての方向性の検討を行う必要があります。

#### 委員

物価上昇のスピードが予想より遥かに早いと感じています。現時点で料金・使用料の単価を設定して、今後の物価上昇に対応できるのか、また、この料金・使用料の単価が適正なのかについて、お聞かせください。

#### 事務局

この度の料金使用料の改定については、あくまで算定期間である令和 6 年度から令和 9 年度の 4 年間に必要な費用を基に算定したものになります。この先も厳しい経営状況を見込んでおりますので、定期的に見直し、丁寧な検討が必要と考えています。

#### 委員

例えば、検針員や工事作業員など人手不足といったところが今後出てくると思います。この問題をどうやって解消していくのかについて、何か考えがありましたらお聞かせください。

#### 事務局

まだ具体的には、方策等はございませんが、労働人口が減っていくことは目に見えておりますので、デジタルトランスフォーメーションというのをしっかり活用していくというのが問われてくるだろうと思います。

まだ、検証段階でありますけれども、例えば検針員の不足に対してはスマートメーターの導

入について考えていけないといけなんでしょうし、工事の検査については、現場で行うのでは無く、オンラインを活用して遠隔で実施する等、DXに関する技術を豊中市としても遅れないように取り入れることで、労働人口の減少に対応していく必要があると考えています。

会長

豊中市の職員もやはり、賃金が上がっていかないといけなと考えています。このことは料金使用料に直結する話でもありますので、局だけで決められることではないと思います。魅力ある水道事業、下水道事業であるためにも、賃金、或いは働きやすい環境、そのあたりも今後引き続きご検討いただければと思います。

それでは次に進みたいと思います。次の案件1-2現時点の進捗状況と評価について、事務局からご説明お願いいたします。

事務局

「1-2 現時点の進捗状況と評価について」（資料3～6にて説明）

会長

ありがとうございました。それでは、ただいまのご説明につきまして、ご意見よろしくお願ひします。いかがでしょう。

委員

冒頭管理者の挨拶でありました、有機フッ素化合物（PFAS）であるPFOS、PFOAの話やSDGsについては、第2次とよなか水未来構想の令和2年度の改訂時には、そんなに話題になっていなかったと思います。ぜひPFAS絡みの水質検査などについて、豊中市としてもしっかり安心安全のために実施しているということを工夫して表現いただきたいと、思います。

事務局

PFASやSDGsについては、改訂時には反映していきたいと考えております。なお、PFASについては、令和2年度から水道水の水質管理目標設定項目に位置づけられており、暫定的な目標値はPFOS、PFOAの合計値が1リットル当たり50ナノグラム以下となっており、測定を開始した令和2年度以降、すべての検査結果で目標値を下回っており、安全性を確認しております。今後も定期的に水質検査を実施してまいります。

委員

今後課題となってくるのは、人口減少や水需要の減少というところで、いかに施設の効率

性を上げていくのか、いわゆる施設利用率等が非常に重要なポイントになってくるかと思っています。

広域連携で言えば、吹田市との配水池の共同化や池田市との水質検査機器の共同利用など実施されていますが、水質検査機器の共同使用について、池田市さんとの費用の分担は、どのようにされているのでしょうか。

#### 事務局

費用分担につきましては、豊中市の機器を池田市の職員が使用する形のため、人件費は含まず、機器の損料などから算出した費用をいただく形で運用する予定です。また現在、人事交流で池田市の職員が豊中市に派遣されており、機器の使い方を学んでいます。

#### 委員

水質検査は稼働率を上げないとなかなかもったいないですので、今後もうまく効率性を上げていくような努力をしていただけたらと思います。

#### 会長

資料4の6ページの水道管路の耐震適合率と耐震化率について、豊中市では耐震管の定義と耐震適合管の定義が違っていると認識しております。他事業体では、耐震管しか敷設していないので、耐震化率も耐震適合率も同じものとして算出していると説明しているところもあるのですが、豊中市では耐震管と耐震適合管をどのように区別しておられるのでしょうか。

またもう1点は、下水道管を更新された際には、下水道管は耐震化相当になるのか、ならないのか、ご教示いただければと思います。

#### 事務局

水道管路につきましては、豊中市では管路更新を行う場合には、すべて耐震管であるダクタイル鋳鉄管及び配水用ポリエチレン管を使っております。

耐震適合管につきましては、耐震管に加え、良質な地盤に埋設されたK形継手等を有するダクタイル鋳鉄管も含む管路のことを指しています。

下水道管の耐震対策といたしましては、下水道施設は施設規模も大きく、下水道管は土被りが深いということで、全施設を一斉に耐震目的で、更新するということは現実性がないため、ストックマネジメント計画を策定し、管更生という工法で、更新を行っている状況です。

管更生を行った下水道施設につきましては、メーカー等により、耐震性があると見解のある材料や工法を使用していますので、耐震性能があると考えています。

また下水道の場合は、マンホールから状態の監視ができますので、耐震診断を行い、状態が良い管渠で、土被りや地盤等の状況を総合的に判断し、診断により適合する場合は、耐震

性があると判断をしております。診断した結果、概ね9割以上は、耐震性のあるという結果も出ていますので、現在耐震性能がないと判断している施設はまだ耐震診断を行っていないため、耐震性能がないと評価しているところでございます。

会長

ありがとうございます。すごくよくわかりました。

あともう1つがこれからのフォローアップの内容ですけれども、やはり先ほど申し上げたように、上下水道DXというところで国が上下水道におけるDXにかなり焦点を当てた取り組みをされていますので、令和9年度までのフォローアップというところですが、国の動きに合わせて、豊中市の上下水道のDXの取り組みについて、少しわかりやすく、まとめていただくのがいいのかなということと、これはまた次年度の審議会での議論になると思いますけど、新しい技術を積極的に検討検証していただき、いいものは採用していただくという流れもとても大事になるかと思います。

令和9年度までの短い時間ですけれども、こういったところも積極的に進めていく必要があるのかなと思います。

委員

資料の5の1ページの経営シミュレーションについてです。シミュレーションは企業でもなかなかその通りになった試しがありません。過年度については実績だけが表現されたグラフであると思いますが、前提条件をもとに計画を練られたはずで、シミュレーション通りでなかったら、反省点はもちろんあるわけです。そして想定外のスピードで社会情勢が変化していることから、シミュレーションが崩れてしまうこともあります。そこは誠実に向き合っていたいただいたうえで、今後の改訂に着手してもらえたらありがたいなと思います。

会長

ありがとうございます。ようやくここで2年の任期に区切りがつきますので、各委員さんからお一言ずつ、豊中市上下水道局へ熱いメッセージをいただければと思います。

委員

次年度は、とよなか水未来構想の改訂作業がおありかと思いますが、今年度は水道料金、下水道使用料の改定で本当に事務局の方は奔走され、結果も出て、一段落となったと思いますが、また次のいろいろな課題も見えて参りましたので、本日議論のあった内容をしっかり踏まえていただき、より良いものに改訂していただきたいと思います。そして、自治体の中でもロールモデルになれる豊中市の好事例というのは、他の自治体も注目されておられますので、その辺りもぜひ事務局の方々には、ご承知いただき、事業を実施いただければと思います。私もエールを送っておりますし、何か意見を申せることはさせていきたい

と思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

#### 委員

上下水道局の皆さん方は本当によく頑張っておられると思います。料金使用料の値上げは大変苦勞されたと思います。

ただ、私が一番気になるのは金利の上昇です。政策金利 0.5%は数値としては小さく感じますが、貸出金利はもっと上がって参ります。金利は上昇傾向にありますので、今後利益を大幅に圧迫してくると思われます。もう少し慎重に、金利の動きを見られた方が良いのではないかとと思っております。企業債利息は本当に馬鹿になりませんので、ご注意なさったらいかがかなと思っております。

#### 委員

2年間、ありがとうございました。私はいつも記事を依頼されたときは大体、一言目に何を書いているかというところ、水道事業、下水道事業の持続性を確保するには、施設のハード面と、財政面の両方が健全でないと、持続性はないというようなことから書き始めることが多いです。そういった意味では、施設更新等をきっちりしていくために、財源としてどれだけの裏付けがあるのかが重要になってくると思ひます。他の委員さんが言われたように、これから金利がつく時代になったときに、どのように経営シミュレーションが変わってくるのかというところを、いろいろとご検討いただけたらと思ひています。

豊中市さんはまだ、恵まれた環境で、経営もまだよい状況でございますので、ロールモデルのようにいろんなことにチャレンジして取り組んでいただけるような状況を続けていただけたらと思ひております。

#### 委員

委員として、水道料金・下水道使用料値上げ案の審議に参加することができたことは、大変貴重な体験だったと思ひます。私は当初より値上げは避けがたしの立場でした。議会では僅差での否決、その後の賛成多数で可決という報告をいただいたときは、我事のようにうれしかったです。その間の管理者をはじめとする、事務局の皆様のご努力にここに改めて、敬意を表します。ご苦勞さまでした。

#### 委員

私は、実際にこういう場に立って話を聞いてみないと分からないことが多いという印象を受けました。いろんな方にこういう場に携わって考えていただき、みんなで知恵絞っているようなことを良い形に作り上げていけたらいいのかなと思ひました。

またこの上下水道事業は、耐震管に更新しても、いずれは老朽化し、更新をしないとくいけないという繰り返いで、果てしなく休む暇がないなという印象を受けました。何とか知恵を

絞って収入の確保につながる取り組みを実施できれば良いのではないかと感じました。

会長

数年前から、冗談半分本気半分で、私は上下水道界もの応援団長ですとか、上下水道局の応援団長ですとか、あちこちでこう言うておりましたら、今では、政府の公認の上下水道界の応援団長として、名刺に書けるぐらいになりました。

そういうことで、豊中市さんは、私を座長に指名したと同時に、全国から注目されていますので、ロールモデルじゃなくて、もう最先端を走っていかないといけない、そういった責任をぜひ感じいただき、今後も引き続きご努力をお願いします。私はいろんな会議で、豊中市さんではこのようにしていると、必ず豊中市さんをご紹介しますので、これから引き続き、日本全国のリーダーとしてご活躍いただければと思います。

事務局

本日は長時間にわたりご審議いただきまして本当にありがとうございました。そして引き続き委員をお願いする方もいらっしゃるし、今期限りという方もいらっしゃると思いますが、この2年間、料金使用料の改定という、皆さんに負担をおかけする審議にお付き合いいただきまして、本当にありがとうございました。

やはり審議会の答申をいただきましたと、この一言が行政の中では大変大切なことだと思いますので、しっかりご審議いただき、答申いただいたことを力に、この間頑張ったと思っております。

引き続き委員としてお願いする方については、まだまだ課題がたくさんございますので、お付き合いいただければと思いますし、今期限りという方につきましても、違った形で、ぜひ上下水道に対する関心と豊中市上下水道局に対する絶大な支援をお願い申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

会長

それでは以上ですべての議事は終了いたしました。本日の審議会は、これをもちまして閉会したいと思います。皆様どうもお疲れ様でした。